



平成 28 年 3 月期 第 2 四半期決算短信（非連結）

平成 27 年 11 月 20 日

会 社 名 マイコロジーテクノ株式会社

グリーンシート銘柄

コード番号 3145

本社所在都道府県 新潟県

本社所在地 新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号

問い合わせ先 責任者役職名 代表取締役社長

氏 名 津野 芳彰

T E L (025)250-7335

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期の業績（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

（注）1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

（1）経営成績

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	千円 %	千円 %	千円 %
28 年第 2 四半期	18,321 (86.0)	△25,955 (-)	△27,168 (-)
27 年第 2 四半期	21,300 (109.5)	△20,563 (-)	△21,663 (-)

	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自 己 資 本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	千円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
28 年第 2 四半期	△30,242 (-)	△382 30	- -	-	△37.1	△148.3
27 年第 2 四半期	△21,663 (-)	△281 04	- -	-	△31.1	△101.7

（注）1. 期中平均株式数 28 年第 2 四半期 79,107 株 27 年第 2 四半期 77,085 株

2. 会計処理の方法の変更 有 ・ 無

3. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	千円	千円	%	円 銭
28 年第 2 四半期	76,558	△28,839	△39.4	△364 57
27 年第 2 四半期	73,426	△19,465	△26.5	△252 51

（注）期末発行済株式数 28 年第 2 四半期 79,107 株 27 年第 2 四半期 77,085 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
28 年第 2 四半期	△30,063	△1,134	34,000	7,135
27 年第 2 四半期	△32,900	△204	37,000	9,564

2. 平成 28 年 3 月期の業績予想（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金（円）				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	75,175	△33,272	△33,272	—	0	—	0	0

（参考）1 株当たり予想当期純損失（通期）420 円 59 銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

平成 27 年 11 月 20 日

第 13 期 第 2 四半期報告書

(平成 27 年 7 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日まで)

会社名（定款上の商号）	マイコロジーテクノ株式会社
英 文 名	MYCOLOGY TECHNO. CORP.
コ ー ド 番 号	3145
代表者の役職氏名	代表取締役 津野 芳彰
本店の所在の場所	新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号
電 話 番 号	025-250-7335
連 絡 者	代表取締役社長 津野 芳彰

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位: 千円)

期 別 科 目	第 13 期 第 1 四半期 自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日	第 13 期 第 2 四半期 自平成 27 年 7 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日	当期累計 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日	前年同期累計 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 9 月 30 日
	金 額	金 額	金 額	金 額
I 売上高	7,045	11,276	18,321	21,300
II 売上原価	1,943	5,253	7,197	5,682
売上総利益	5,101	6,022	11,124	15,618
III 販売費及び一般管理費	20,795	16,284	37,080	36,181
営業損失	15,694	10,261	25,955	20,563
IV 営業外収益	187	278	465	463
V 営業外費用	748	929	1,678	1,564
経常損失	16,255	10,912	27,168	21,663
VI 特別損失	—	3,073	3,073	—
税引前四半期(当期)純損失	16,255	13,986	30,242	21,663
法人税、住民税及び事業税	—	—	—	—
四半期(当期)純損失	16,255	13,986	30,242	21,663

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 科 目	第 13 期 第 1 四半期 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 6 月 30 日	第 13 期 第 2 四半期 自平成 27 年 7 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日	当期累計 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日	前年同期累計 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 9 月 30 日
期中平均株式数	79,107 株	79,107 株	79,107 株	77,085 株
1 株当たり四半期（当期） 純損失	205 円 49 銭	176 円 81 銭	382 円 30 銭	281 円 04 銭
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期（当期）純利益	—	—	—	—

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益につきましては、潜在株式が存在しないため

記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

期 別 事業の種類	第 13 期 第 1 四半期 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 6 月 30 日	第 13 期 第 2 四半期 自平成 27 年 7 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日	当期累計 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日	前年同期累計 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 26 年 9 月 30 日
マイコロジー事業	—	—	—	—
健康食品販売事業	7,045	11,276	18,321	21,300
合 計	7,045	11,276	18,321	21,300

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第12期末 平成27年3月31日現在	第13期第1四半期 平成 27 年 6 月 30 日現在	第13期第2四半期 平成 27 年 9 月 30 日現在
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
I 流動資産			
1. 現金預金	4,333	6,234	7,135
2. 売掛金	33,977	28,277	32,528
3. 製 品	5,618	6,364	5,447
4. 半製品	2,332	2,627	2,501
5. 原材料	1,813	1,411	679
6. 仕掛品	21,394	24,112	26,201
7. 前払費用	649	649	649
8. 未収入金	551	398	204
9. その他	1,552	1,549	2,822
10. 貸倒引当金	△4,738	△4,738	△4,738
流動資産合計	67,484	66,886	73,431
II 固定資産			
1. 有形固定資産			
建物付属設備	-	105	105
工具器具備品	0	182	182
有形固定資産合計	0	287	287
2. 投資その他の資産			
敷 金	2,839	2,839	2,839
長期前払費用	22	0	-
投資その他の資産合計	2,861	2,839	2,839
固定資産合計	2,861	3,126	3,126
資産合計	70,346	70,012	76,558

(単位：千円)

期 別 科 目	第12期末 平成27年3月31日現在	第13期第1四半期 平成 27 年 6 月 30 日現在	第13期第2四半期 平成 27 年 9 月 30 日現在
	金 額	金 額	金 額
(負債の部)			
I 流動負債			
1. 買掛金	4,334	2,435	4,373
2. 短期借入金	61,000	76,000	95,000
3. 未払金	1,794	2,143	1,748
4. 未払費用	-	748	-
5. 未払法人税等	1,328	-	-
6. 前受金	-	2,284	2,284
7. 預り金	486	675	489
8. 仮受消費税	-	578	1,502
流動負債計	68,943	84,866	105,398
負債合計	68,943	84,866	105,398
(純資産の部)			
II 株主資本			
1. 資本金	437,623	437,623	437,623
2. 資本剰余金			
資本準備金	385,623	385,623	385,623
資本剰余金合計	385,623	385,623	385,623
3. 利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	△821,843	△838,099	△852,086
利益剰余金合計	△821,843	△838,099	△852,086
株主資本合計	1,402	△14,853	△28,839
純資産合計	1,402	△14,853	△28,839
負債・純資産合計	70,346	70,012	76,558

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 項 目	第12期末 平成27年3月31日現在	第13期第1四半期 平成 27 年 6 月 30 日現在	第13期第2四半期 平成 27 年 9 月 30 日現在
発 行 済 株 式 数	79,107 株	79,107 株	79,107 株
1 株 当 たり 純 資 産 額	18 円 19 銭	△187 円 76 銭	△364 円 57 銭

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 9 月 30 日）

(単位：千円)

項目	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越 利益剰余金			
平成 27 年 4 月 1 日残高	437, 623	385, 623	385, 623	△821, 843	△821, 843	1, 402	1, 402
第 1 四半期中の変動額							
四半期純損失	－	－	－	△16, 255	△16, 255	△16, 255	△16, 255
第 1 四半期中の変動額合計	－	－	－	△16, 255	△16, 255	△16, 255	△16, 255
平成 27 年 6 月 30 日残高	437, 623	385, 623	385, 623	△838, 098	△838, 098	△14, 853	△14, 853
第 2 四半期中の変動額							
四半期純損失	－	－	－	△13, 986	△13, 986	△13, 986	△13, 986
第 2 四半期中の変動額合計	－	－	－	△13, 986	△13, 986	△13, 986	△13, 986
平成 27 年 9 月 30 日残高	437, 623	385, 623	385, 623	△852, 086	△852, 086	△28, 839	△28, 839

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5【経理の状況】 1【計算書類等】 (4)【個別注記表】 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
2. 消費税等の会計処理
仮払消費税等及び仮受消費税等を相殺し、未収入金として計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第13期第2四半期の業績の概況（平成27年7月1日から平成27年9月30日）

当第2四半期におけるわが国経済は、政府や日銀の金融政策により緩やかな景気回復が続き、個人消費も消費増税後の落ち込みから持ち直しつつあります。しかし円安による値上げ等、先行き不透明な状況が続いているため、生活防衛意識が高まり大きな消費拡大は見込めない状況です。

総務省の家計調査で平成27年8月11日発表の「1世帯あたり1ヶ月間の収入と支出」によると、平成27年4～6月の健康食品（健康保持用摂取品）は、月平均で1,098円でした。昨年8月8日発表の平成26年4～6月は1,048円で、昨年比4.8%増加しています。

社団法人日本通信販売協会が平成27年10月8日にまとめた調査概要によると、平成27年8月健康食品については15,692百万円で、前年同月14,829百万円と比較して5.8%増加しました。消費者の目が健康に向けられて、健康食品市場が拡大してきていると思われます。

越後白雪茸製品「蘇りレスベラ」が多くの方々から評価を得て、売上を伸ばしています。この瓶のサイズやデザインを変える等、国内はもとより海外からも蘇りレスベラのOEMの製造依頼が来るようになりました。

また越後白雪茸製品のOEM「バンックス」は、全国で説明会を開き、取扱店を拡大し、安定して受注が続いています。

当四半期の5月29～31日に福岡にて第15回日本抗加齢医学会総会が開催され、越後白雪茸製品が展示されて、商品説明を行いました。8月1～2日には、大阪大学の伊藤壽記教授が理事長を務める「エビデンスに基づく統合医療研究会」で、越後白雪茸製品の展示説明の場をいただき、多くの研究者から評価を得ました。

昨年9月より開始された、新潟薬科大学と金沢大学と有効成分の物質を特定するために共同研究は、順調な推移をしていて、10月17日に報告されました。

これからも越後白雪茸の認知度を向上させるための活動を広く行っていることにより、売上向上に努めています。

以上の結果、当四半期の業績は、売上高 11,276 千円（前年同期比 34.0%減）、営業損失 10,261 千円（前年同期営業損失 5,441 千円）、経常損失 10,912 千円（前年同期経常損失 6,073 千円）、四半期純損失 13,986 千円（前年同期四半期純損失 6,073 千円）となりました。

III 第13期通期の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目	期 別	第12期（実績） 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日	第13期（予測） 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売 上 高		60,299	75,175
営業利益又は損失（△）		△51,732	△30,932
経常利益又は損失（△）		△54,342	△33,272
当期純利益又は損失（△）		△55,794	△33,272

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 13 期 第 1 四半期	第 13 期 第 2 四半期
		自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日	自平成 27 年 7 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日
現金及び預金の増減額		1,901	901
現金及び預金の四半期首残高		4,333	6,234
現金及び預金の四半期末残高		6,234	7,135

(主な増減理由)

当第2四半期の主な増減理由は以下のとおりです。

短期借入金の借入による増加額 19,000 千円、仕入債務による増加額 1,938 千円、

(以上現金及び預金の増加要因)、税引前四半期純損失 13,986 千円、その他流動資産による増加額 1,078 千円、
売上債権による増加額 4,251 千円、その他流動負債による減少額 406 千円、たな卸資産による減少額 314 千
円 (以上現金及び預金の減少要因) にあります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 13 期 第 1 四半期	第 13 期 第 2 四半期
		自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日	自平成 27 年 7 月 1 日 至平成 27 年 9 月 30 日
短期借入金増減額		15,000	19,000
短期借入金の四半期首残高		61,000	76,000
短期借入金の四半期末残高		76,000	95,000

(主な増減理由)

当第2四半期における短期借入金の増加の主な理由は、健康食品事業にかかる株式会社国際総合ファイナンス
からの借入による増加額 19,000 千円によるものであります。

V その他

該当事項はありません。

以上